

1 基本情報

施策名	3 - 3 拠点を結ぶまちづくり				戦略名	拠点創造プロジェクト		
担当	主担当部	都市建設部	主担当課	都市計画課				
	部長名	高石 和明	関係課	産業振興課	道路課			

2 取組目標(Plan)

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●道路ネットワークを活かして、沿道への企業進出を誘導します。 ●北千葉道路の整備の進捗状況を踏まえて、インターチェンジ周辺への産業機能の創出を進めます。 ●都市拠点と各地域の拠点をネットワーク化し、まち全体の拠点間を移動しやすいまちづくりを進めます。
求める成果	移動しやすい環境が整い、市民の利便性が向上するとともに、昼間人口が増加する。 ⇒ヒト・モノなど様々な交流が活発なまちになる。

3 令和3年(2021年)度取組状況(Do①)

取組1 幹線道路沿道などにおける開発誘導						
取組方針	羽田空港と成田空港の中間地点にあり、国道16号が通過しているという白井市の立地特性を活かし、企業などの進出を誘導します。また、構想道路の計画化を進めるとともに、北千葉道路のインターチェンジ周辺の活用方策を検討します。					
求める取組成果	産業を支える道路ネットワークが構築され、さらに企業の進出が進む。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市の幹線的な道路ネットワークの強化のみならず、産業振興の観点からも重要性が高い構想道路の計画化に向けて、道路交通等の現状や市民の道路に対する満足度等を把握・整理し、今後の検討の基礎資料となる「白井市構想道路基礎検討書」を作成するとともに、構想道路周辺地域の用地取得リスクや現地の状況等の確認、コントロールポイントの検討等を行った。 ・幹線道路沿道の活性化、地域振興をもたらす企業等の誘導に向けて、幹線道路沿道での都市計画施策について千葉県都市計画課等と協議を行った。 ・木地区への企業誘致に向けた企業へのヒアリング調査及び木公益的施設誘導地区まちづくり協議会との意見交換を行った。 ・新規企業の立地及び既存企業の事業拡張などを誘導するため、企業立地奨励金制度のPR・運用や、産業用地確保候補地の選定、企業へのヒアリング調査等を行った。【再掲】 					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	1	道路ネットワークづくり事業	現状のまま継続	2	幹線道路沿道活性化事業	現状のまま継続
	3	企業誘致推進事業【再掲】	現状のまま継続			

取組2 都市拠点と各地域を結ぶ道路ネットワークの構築

取組方針	市内を便利に移動できるよう道路のネットワーク化を進めるとともに、安全に移動できるよう幹線道路などの維持修繕を進めます。					
求める取組成果	安全に便利に移動できる道路ネットワークが整う。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装修繕計画に基づき幹線市道などの効率的・効果的な修繕工事を行った。（9路線 延長2.7km） ・市の幹線的な道路ネットワークの強化のみならず、産業振興の観点からも重要性が高い構想道路の計画化に向けて、道路交通等の現状や市民の道路に対する満足度等を把握・整理し、今後の検討の基礎資料となる「白井市構想道路基礎検討書」を作成するとともに、構想道路周辺地域の用地取得リスクや現地の状況等の確認、コントロールポイントの検討等を行った。【再掲】 					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	4	市道維持修繕事業	現状のまま継続	5	道路ネットワークづくり事業【再掲】	現状のまま継続

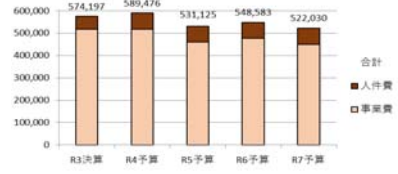
取組3 利便性の良い公共交通ネットワークの確保

取組方針	拠点間を移動しやすいよう、北総線運賃対策をはじめ、バス・鉄道・タクシーなど公共交通ネットワークの利便性の向上を進めます。					
求める取組成果	交通不便により生活に困難を抱える人が減る。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者と沿線地域が一体となってまちづくりや地域の賑わいの創出などを図り、利用者の増加につなげるため、北総線沿線地域活性化協議会において沿線市事業の後援活動及び周知を行った。 ・北総鉄道㈱から令和4年10月の運賃大幅値下げが発表された。 ・市民の公共施設等利用の促進、高齢者等の交通弱者の交通手段の確保及び交通不便地域の解消を図るため、地域公共交通活性化協議会において、コミュニティバスの役割の範囲内における利便性向上、ルートの効率化による便数増や速達性に配慮したルートを検討し、令和3年8月から新ルート・ダイヤで運行開始した。 					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	6	鉄道交通推進事業	現状のまま継続	7	バス交通推進事業	改善して継続

4 施策展開の状況(Do②)

改善した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスのルート・ダイヤ改正に合わせてルート・ダイヤマップの配布、広報紙やホームページにより利用促進の啓発を行った。 ・グーグルマップ上のコミュニティバスのバス停を表示し、ルート・ダイヤを検索できるようにした。
他分野他施策との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の移動支援策について、福祉担当部局と交通担当部局で意見交換を行った。
市民等との情報共有、参加・協働	

5 施策推進コスト(Do③)						(千円、%)
年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
事業費	517,144	517,777	461,175	476,884	450,331	
人件費	57,053	71,699	69,950	71,699	71,699	
合計	574,197	589,476	531,125	548,583	522,030	
プロジェクト内割合	78.6%	71.4%	59.9%	85.3%	83.9%	



6 1次評価(Check①&Action①) (目標値設定の考え方は白井市第5次総合計画後期基本計画書の84頁を参照ください)

定量的評価	指標名	単位	基準値/基準年度		目標値	実績値					
					R7 (2025)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
取組指標	進出(増設)企業数(累計)	社	-	-	10	2					
	公共交通による人口カバー率	%	89.0	H29 (2017)	95.0	95.5					
	成果指標	滞在人口率(平日・日中)	倍	0.86	R1 (2019)	0.88	0.9				
定性的評価	<p>求める成果である「移動しやすい環境」を整えるためには、拠点を結ぶ道路ネットワークの形成と、移動を支える公共交通の充実の両面が必要であるが、構想道路の計画化の検討や市道修繕など、安全で利便性の高い道路ネットワークの向上に向けた計画的な取組を進めるとともに、コミュニティバスのルート見直しと増便など公共交通ネットワークの充実を進め、施策の推進を図った。</p>										
											進捗状況
											<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている
遅れている取組の原因	内部要因					外部要因					
施策を取り巻く環境の変化	高齢化の進展などに伴い、高齢者や障がい者等の交通弱者の増加が見込まれる。また、人口減少による地域の都市機能やコミュニティ機能の低下が危惧される。										
課題	喫緊の課題					中長期的な課題					
	<p>拠点を結ぶまちづくりの課題は、基本的に短期間で解決できる性質のものではなく、中長期的に取り組むものである。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う生活様式の変化により、公共交通の維持が困難となっており、対応が求められている。</p>					<p>構想道路の整備や市道の維持修繕など、ハード面の取組には多額の費用が必要である。公共交通に関しては、公共交通へのニーズが高まる一方で利用者の減少が見込まれており、各公共交通機関の役割に基づき、相互に補完しながら維持していく必要がある。</p>					
施策の方向性(改善策)	短期的な方向性					中長期的な方向性					
	<p>安全で円滑な道路交通環境を確保するため、市道修繕事業を計画的に進める。また、公共交通については、「地域公共交通網形成計画」に基づき、交通事業者との協議や公共交通の利用促進など、できるところから順次取り組んでいく。さらに、公共交通の維持については、全国的な課題であることから、他自治体の先進事例等の収集に努める。</p>					<p>構想道路の整備や市道の修繕を計画的に進め、安全な道路ネットワークの強化を図る。また、公共交通については、「地域公共交通網形成計画」に基づき、持続可能な公共交通網を具体化するため、各交通事業者との協議を踏まえながら、取り組んでいく。鉄道については、運賃値下げを契機として、沿線市や鉄道事業者が協力して沿線の活性化、鉄道の利用促進に関する取組を検討し、実施していく。</p>					
進め方	<input type="checkbox"/> 行政の役割を拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の行政と市民の役割分担・協働を維持 <input type="checkbox"/> 市民の役割・協働を拡大 ・道路の整備は行政の役割であるが、公共交通については、路線バス・鉄道・タクシーなど民間事業者が自ら取り組む部分が大い。										

7 2次評価(Check②&Action②)	白井市行政評価委員会による評価
<ul style="list-style-type: none"> ・北千葉道路について、都心直結に関する都市計画変更が完了し、全面開通に向けた取組が進捗していることから、市内に設置されるインターチェンジの活用について取組を強化していく必要がある。 ・公共交通による人口カバー率は目標値を上回っているが、人口減少や少子・高齢化の進展、コロナ禍における市民の生活・就労スタイルの変化が、公共交通の利用にも影響を及ぼす中、公共交通に求められる役割を踏まえて、その維持に努めていく必要がある。 ・各地域における将来の人口構造等の状況を予測しながら、長期的に公共交通のあり方を考えていく必要がある。 	

8 3次評価(Check③&Action③)	総合計画審議会による評価
令和4年(2022年)度対象外	

9 3次評価の改善意見等への対応
令和4年(2022年)度対象外